

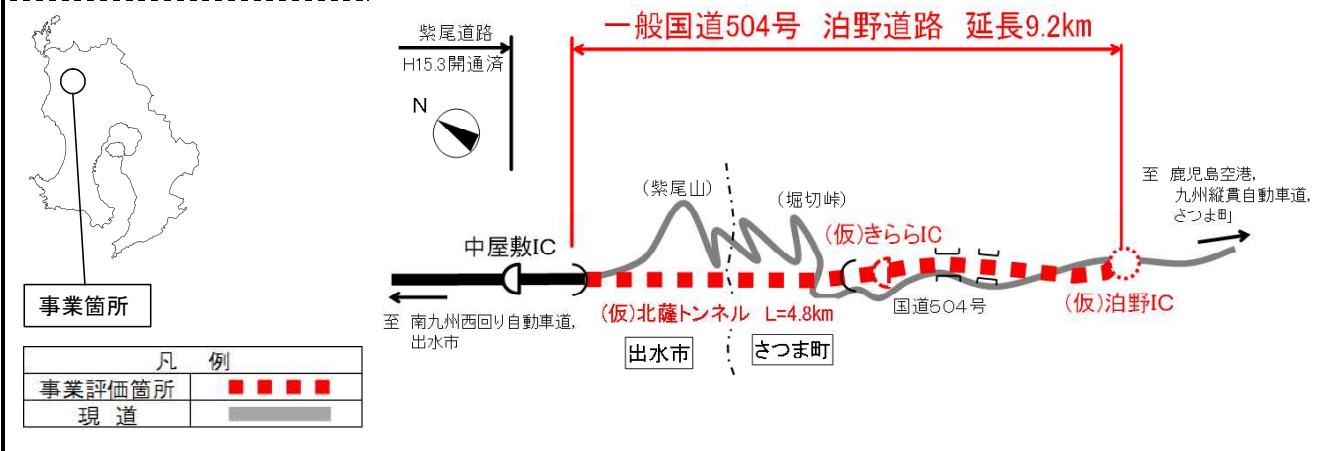
再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名	地域高規格道路 <small>ほくさつおうだんどうろ</small> 北薩横断道路 一般国道504号 <small>とまりの</small> 泊野道路	事業区分	一般国道	事業主体	鹿児島県
起終点	自：鹿児島県薩摩郡さつま町泊野 至：鹿児島県出水市高尾野町柴引			延長	9.2 km
事業概要					
泊野道路は、地域高規格道路である北薩横断道路の一部を担い、当該箇所を整備することにより、鹿児島空港等へのアクセスが向上するとともに、北薩地域の物流及び交流の活性化を図ることを目的とした延長約9.2 kmの道路である。					
平成16年度事業化	都市計画決定無し	平成17年度用地着手	平成17年度工事着手		
全体事業費	328億円	事業進捗率	59%	供用済延長	0 km
計画交通量	6,200台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 3.8	総費用 (事業費)/(事業全体) 102 / 350 億円 (事業費：98/347 億円) 維持管理費：3.3/3.3 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 385 / 385 億円 (走行時間短縮便益：277/277 億円) 走行経費減少便益：70/70 億円 交通事故減少便益：38/38 億円	基準年	平成26年
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.0～1.1(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=3.8～3.8(交通量±10%) 事業費：B/C=1.0～1.2(事業費±10%) 事業費：B/C=3.4～4.2(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.0～1.2(事業期間±20%) 事業期間：B/C=3.7～3.9(事業期間±20%)					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（空港へのアクセス向上が見込まれる） ・道路の信頼性、安全性の向上（大型車のすれ違い困難区間、幅員狭小区間、線形不良箇所の解消） ・物流効率化の支援（農産品の流通の利便性が向上） ・災害への備え（第一次緊急輸送道路としての位置づけ） 					
関係する地方公共団体等の意見					
・さつま町をはじめとする4市2町で構成される北薩空港幹線道路整備促進期成会等より早期整備の要望が行われている。					
事業評価監視委員会の意見					
・鹿児島県事業評価監視委員会において、審議の結果「事業継続」が妥当であると認められた。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
・平成17年3月22日に宮之城町、鶴田町、薩摩町が合併し「さつま町」となる。 ・北薩横断道路の永野IC～さつま観音滝ICが平成21年3月23日、さつま観音滝IC～さつま広橋ICが平成24年2月14日に開通した。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
・平成16年度に事業化、事業進捗率59%、用地進捗率100%（平成26年3月末時点） ・今後も、トンネルや橋梁等の重点的な整備を行い、早期完成を図る。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
・事業規模が大きいことから長期化しているが、概ね計画どおり進捗している。					
施設の構造や工法の変更等					
・コンクリート二次製品の積極的な活用を図るとともに基礎砕石や舗装材料は、再生材を使用しコスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由					
・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。